

表紙の写真から

エメラルドグリーンに浮かぶ新緑 秋扇湖の水没林

新玉川大橋から見える光景はとても幻想的です。



国道341号沿いに広がる秋扇湖にこの時期しか見られない水没林が現れました。雪解け水による水位の上昇により起きるこの現象。エメラルドグリーンに輝く水面には新緑が浮かび、幻想的な光景が広がりました。

角館ロータリークラブ 交流奉仕事業 大村ロータリークラブ

5月14日、角館ロータリークラブ（三浦大英会長）と長崎県大村市の大村ロータリークラブ（竹房政美会長）が、角館にアユの稚魚を放流する交流奉仕事業を実施し、両クラブの会員のほか、参加の呼びかけに応じた角館小学校の児童やその保護者など約70人が参加しました。

仙北市（旧角館町）と大村市の姉妹都市が縁で両クラブは姉妹クラブとしてこれまで交流奉仕事業を実施しており、今回は子どもたちに自然や生命の大切さ、両市の歴史を伝えることを目的に行われました。

当日はあいにくの雨空でしたが、角館内川に参加者が集まり始めると雨はやみくもり空に。はじめに、戊辰戦争などの歴史の説明が行われたあと、アユの放流が行われました。児童たちの手によって放流された稚魚は5000匹。バケツから角館内川に放流されるとアユの稚魚は元気に泳ぎはじめました。

角館小学校児童がアユを放流

大村ロータリークラブの竹房会長は「児童たちが笑顔でアユを放流する姿を見ることができて嬉しかった。今回の放流事業は、ロータリークラブの青少年育成や自然との共生という目的にもつながりよかった」と話しました。



アユの稚魚を放流する児童たち。

5月12日、白岩小学校が校舎敷地内の整備などをボランティアで行っていた（株）相馬組にお礼の気持ちを伝えようと、感謝状を贈呈しました。同社は4月27日、ボランティアで同校敷地内にある木の枝の切断や落ち葉の撤去、側溝の泥上げなどを実施。玄関前のモルタル補修や高圧水洗浄なども行いました。相馬博之代表取締役社長は「学校がすぐ隣ということもあり、日頃から何かできないかと思っていた。これをきっかけにこれからもできることがあ



左から同校の佐藤公則校長、運営委員長の草薙俊介さん（6年）、相馬博之代表取締役社長、同副委員長の草薙瑚那さん（同）。

白岩小学校が株式会社相馬組に感謝状
5月12日、白岩小学校が校舎敷地内の整備などをボランティアで行っていた（株）相馬組にお礼の気持ちを伝えようと、感謝状を贈呈しました。同社は4月27日、ボランティアで同校敷地内にある木の枝の切断や落ち葉の撤去、側溝の泥上げなどを実施。玄関前のモルタル補修や高圧水洗浄なども行いました。相馬博之代表取締役社長は「学校がすぐ隣ということもあり、日頃から何かできないかと思っていた。これをきっかけにこれからもできることがあ

感謝の気持ちを込めて

お知らせ

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部から

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎ 43-3305

小児接種（満5歳～小学2年生）の日程が決まりました

小学1年生・2年生および満5歳のお子さんの日程が決まりました。接種日が遅くなり申し訳ありません。

- 接種日程は次のとおりです。
小学1年生・2年生
▶ 1回目 / 6月26日(日) 9:00～
▶ 2回目 / 7月17日(日) 9:00～

満5歳以上の未就学児

- ▶ 1回目 / 7月3日(日) 9:00～
▶ 2回目 / 7月24日(日) 9:00～

満12歳未満の方で未接種の方

- ▶ 1回目 / 7月3日(日) 14:00～
▶ 2回目 / 7月24日(日) 14:00～

会場 いずれも神代診療所（田沢湖福祉医療センター）
予約 すべて電話予約のみになります

3回目の追加接種日程について

現在実施中の3回目の集団接種については、6月16日(木)までに終了する予定です。また、5月25日からワクチン接種の間隔が2回目接種日から「5か月」に変更されていますので、ご留意願います。まだ予約枠に余裕がありますので、予約がお済みでない方は早めに予約されるようお願いいたします。

なお、いろいろな事情で6月16日までに3回目の接種を受けることができない方のために、追加の接種日を設けます。次の日程で行いますので、希望される方はご利用くださるようお願いいたします。

- 3回目の追加接種日程
▶ 6月23日(木) 16:00～ 田沢湖健康増進センター
▶ 6月25日(土) 14:00～ 角館交流センター
▶ 6月29日(水) 14:00～ 西木コミュニティセンター
▶ 6月30日(木) 16:00～ 田沢湖健康増進センター
※使用するワクチンは、ファイザー社製とモデルナ社製になります。

4回目のワクチン接種について

4回目の追加接種の方針が厚生労働省から示されていますが、接種対象者は3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の方および18歳以上60歳未満の方のうち、基礎疾患を有する方などとされています。

仙北市では、医療従事者などについては6月中旬から、一般の対象者については7月から接種を始めることにしています。

接種券については、満60歳以上の方で、3回目の接種を終えた方に6月下旬頃を目途に郵送する予定です。基礎疾患のある方については申請により交付することになりますので、6月20日以降にワクチン接種推進室までご連絡願います。

4回目の集団接種は、7月下旬から予定しています。接種日程などについては、6月16日号の広報でお知らせしますので、ご確認ください。

予約の方法について 電話予約かLINEによる予約の二通りです！

電話予約とLINE予約を二重にした場合は、LINE予約が優先されますので、あらかじめご了承ください。

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターへお電話ください。
☎ 0570-038899
(土・日曜日、祝日を除く 9:00～17:00)

右記の二次元コードかLINE IDより仙北市公式LINEアカウントを友達登録。LINE内のワクチン接種予約を選択し、案内のとおりに必要事項を入力。

LINE ID ▶▶ @city.semboku

姉妹都市・交流都市で物産展

各地の特産品が大人気



お目あての商品を買い求めるお客さん。

角館の桜まつり期間中、仙北市の姉妹都市・連携交流都市（長崎県大村市、茨城県常陸太田市、秋田市）の物産展が4月29日、30日と旧角館庁舎前の特設テントで開催されました。大村市名物のちゃんぽん、皿うどん、カステラや常陸太田市名物のそばや菓子類、秋田市からはいぶりがっこなど、地元でしか手に入らない品々が並びお客さんで賑わいを見せました。

社会教育委員に

委嘱状が交付されました

この度、新しく4人を社会教育委員に迎え、15人に委嘱されました。社会教育委員からは、教育委員会の諮問に応じ、社会教育に関する諸計画の立案や評価、社会教育推進に関する様々な助言をいただいています。

社会教育委員

- （委員長、委員長職務代理者以降は五十音順掲載、敬称略）
- 委員長 佐藤正美（再）
- 委員長職務代理者 羽根川 覺（再）
- 委員 門脇トキヨ（再）
- 委員 草薨喜世子（新）
- 委員 小松由美（新）
- 委員 佐藤秋夫（再）
- 委員 菅原宗弘（新）
- 委員 鈴木勝一（再）



2年間社会教育委員として頑張ります。

- 委員 田村 忍（再）
 - 委員 田村雄幸（再）
 - 委員 土谷啓子（再）
 - 委員 藤村 榮一（再）
 - 委員 三浦 栄子（再）
 - 委員 武藤 博夫（再）
 - 委員 米澤 孝子（新）
- 【任期】
令和4年2月20日～
令和6年2月19日

（百寿）おめでとう 「じゅらます」

渡辺フヂさん

4月23日、渡辺フヂさん（角館町白岩）が100歳の誕生日を迎えられ、27日に自宅でお祝いが行われました。当日は、家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



フヂさん（前列右）にお祝いが手渡されました。

門脇ツヤさん

5月1日、門脇ツヤさん（角館町白岩）が100歳の誕生日を迎えられ、11日に養護老人ホーム角館寿楽荘でお祝いが行われました。当日は、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



ツヤさんにお祝いが手渡されました。

地域おこし協力隊に 初めまして！ 着任しました

地域芸術文化の振興と次世代への継承に

仙北市地域おこし協力隊

岩見谷 慎太郎さん



5月1日、仙北市地域おこし協力隊として、横手市出身の岩見谷慎太郎さんが着任しました。主に地域芸術文化に関する情報を発信していくほか、市内芸術文化団体などとの連携による芸術文化活動の推進とPRに取り組みます。

プロのDJとして東京都内のクラブやライブハウスなどで活動していたという岩見谷さん。2013年に日本代表として出場した世界最大規模のDJ大会では、史上最年少でアジア人初の優勝という快挙を成し遂げています。

少期にふれた自然、特に生活に欠かせない水をきれいにしたいと思うようになったと岩見谷さん。そんな中、昨年訪れた田沢湖の自然の素晴らしさに圧倒され、移住を考えるようになったそうです。「自分の中では田沢湖は水のシンボル。音楽イベントを通じて水の大切さを伝えることができれば」と話しました。

これから3年間の任期で地域おこし協力隊として活動する岩見谷さん。「体験を作るといいうDJの仕事を通じて、どうしたら人が喜ぶのか、感動するのかわずとと考えてきた。その経験やこれまでの人脈を生かして仙北市の自然や素晴らしさを世界に伝えていきたい」と力強く抱負を語りました。

善意ありがとうございます

角館出身の日本画家・小野崎大凌が 描いた作品を角館町平福記念美術館に 杉山信賢さん（秋田市在住）から びょうぶを寄贈いただきました

5月13日、秋田市在住の杉山信賢さんから、角館出身の日本画家・小野崎大凌（1888・1944年）が描いた六曲一雙のびょうぶ「男鹿半島図」を角館町平福記念美術館に寄贈いただきました。その贈呈式が行われました。

寄贈いただいたびょうぶは、杉山さんの祖父・豊治さんが1927（昭和2）年ごろに小野崎に依頼し描かれたものとされており、以後、杉山家が代々所蔵してきたものです。

元々、小野崎が角館出身ということもあり、杉山さんは友人で角館町在住の齊藤千明さんに同館への寄贈を相談。齊藤さんがさらに元角館榊細工伝承館館長の



寄贈いただいた杉山信賢さん（右）と奥さまの節子さん（左）。



小野崎大凌「男鹿半島図」六曲屏風一雙

六曲屏風左隻正面

六曲屏風右隻正面

中田達男さんに相談し、それを聞いた中田さんが同館へ打診したことにより今回の寄贈の運びとなりました。

寄贈にあたり、びょうぶに破損箇所が確認されたことから秋田市で木村表装店を営む木村明夫さんの手により

修繕が行われ、よみがえりました。

杉山さんは「約100年前に描かれた電ヶ島などの男鹿の美しい風景を楽しんでほしい」と話しました。

寄贈いただいたびょうぶは来年度以降に館内で展示する予定です。